

第八期神楽坂建築塾

第八期修了制作・論文 概要書

氏名	岸由紀子	テーマ	開かれていく小学校
目的	建物の老朽化や耐震対策などで、全国の小学校が建てかえや改築を迫られている。一方、少子化や学習内容の変化に応じて、小学校のあり方も変わってきている。3つの小学校を通じて、今の時代にあった学校建築を考える。		
方法	博多小学校（福岡県福岡市）、石ぐれ小学校（三重県いなべ市）、緒川小学校（愛知県東浦町）の3校を訪れ、各校の特色や環境から、現在の小学校の抱える問題点などをまとめる。		
まとめ	<p>1) 小学校建築を取り巻く現状について</p> <p>歴史</p> <p>老朽化・耐震問題</p> <p>少子化・地域連携など</p> <p>2) 3校の実例</p> <p>博多小（01年に4校が統合し新築。都心部の問題など）</p> <p>石ぐれ小（06年に建てかえ。地域との密着が特徴）</p> <p>緒川小（30年の歴史を持つオープンスクールの先駆）</p> <p>3) これからの学校について</p> <p>地域とのかかわりがますます重要になっているという視点から、将来的に求められる学校像を、自分の感想をまじえてまとめる。</p>		